

# 地域とともに歩む財務局

## 相談窓口として財務局の活用を

東北財務局は、財務省の総合出先機関として、また、金融庁からの委任を受けて、財政・金融分野の幅広い業務を行っていきます。中でも「地域貢献」は当局の重要な使命として、東北各県に所在する財務事務所とともに取り組んでおります。

東北地方の現状は、人口減少や高齢化の進行など、全国でも厳しい状況に置かれている、言うなれば「課題先進地域」です。その東北地方において、商工団体や金融機関、行政機関等が知恵を出し合い解決策を見出すことができれば、これからの日本にとって、貴重なロールモデルになるのではないのでしょうか。

東北財務局の業務の特色として、事業官庁と異なり、様々なネットワークを活用し、相談窓口として担当省庁に橋渡しができる点が挙げられます。こうした特色を生かし、地方公共団体における地方創生を積極的にサポートしていきたいと考えていますので、地方創生に向けた取組みに、ぜひ活用いただきたいと思えます。

## 地域経済活性化フォーラムの展開

地域の課題には、一つの地方公共団体固

有の課題のほか、複数の地方公共団体、或いは県境を越え、地域に共通する課題もあります。

このような課題に対応するため、東北財務局では、平成24年度以降、商工団体や金融機関などの地元メインプレーヤーが一堂に会し、地域の課題解決に向けて協議する「地域経済活性化フォーラム」を開催しています。最近では広域連携に向けた取組みも増えています。

岩手県の盛岡財務事務所では、岩手県二戸市・軽米町・一戸町・九戸村とともに、これらの地域（以下「カシオペア地域」）の課題解決を目的とした「カシオペア地域活性化フォーラム」を、昨年3月から4回にわたって継続的に開催しています。

先般、11月17日に開催された第4回フォーラムでは、4市町村が連携して取り組む「地域の魅力を伝える『いわてカシオペアブランド』発掘・発信事業」の内容が報告されました。

この事業は、地域の特徴的な資源を発掘して磨き上げ、地域ブランディング・情報発信できる人材の育成と、情報誌等メディアへの掲載などのプロモーションを通じ

て、地域全体の魅力と認知度の向上を図っていく取組みを共同して実施していくというものです。

フォーラムを契機に生まれた事業が、地域の活性化に寄与していく一つのモデルケースになり得るものとして、今後もしっかりとサポートしてまいります。

このほかの広域的な取組みとしては、宮城県と福島県を結ぶ阿武隈急行沿線地域や、宮城県仙南地域などにおいて、地域が抱える課題解決に向けたフォーラムを開催し、これを契機とする地元信用金庫と連携した移住・定住者向けの金利優遇ローンの組成といった成果につながっています。

東北地方は、東日本大震災からの復興がまだ途半ばであり、さらには課題先進地域であることからすれば、他地域以上に、国と地方、官と民が一体となって地方創生に取り組んでいくことが求められます。

東北財務局は、こうした取組みをしっかりと継続し、地域とともに歩む財務局として、より一層地域に貢献していきたいと考えています。



財務省東北財務局長

松浦 克巳